



1 地区の概況

- ・瀬谷区の南東部にある阿久和エリアのうち、北側の部分が阿久和北部地区です。
- ・家族構成では、区平均と比べて単身世帯の比率が少なく、夫婦と子どもの世帯が多くなっています。
- ・一戸建て住宅の多い地域で、マンションにはひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が多く住んでいます。10年以上居住されている方が、区平均よりやや高くなっています。11自治会で構成されています。
- ・近くに長屋門公園もあり、住民が参加しやすいイベントも多く行われています。

2 地区の主な意見

子どもの居場所づくり

- ・子育てで悩んでいる方が、どうしたら支援活動の場に来てもらえるか、課題です。
- ・子どもの活動は、まず参加することが大切です。
- ・地域で活動する「阿久和キッズ」の活動を続けて欲しい。
- ・子どもが充実感を得られる機会が必要です。
- ・親の子どもへの躰などの学習会が必要ではないか。
- ・中高生が生き生きできるような、日ごろの活動を模索したい。
- ・世田谷区の羽根木プレイパークのような活動に制限のない場がない。



定年後の男性の参加

- ・男性は組織作りのノウハウがあります。地域には、寺子屋のような活動などに夢を描いている人がいます。活かす場が必要です。
- ・必要とされているという充実感が活動につながります。
- ・「ボランティア」に対する認識の違いから、参加に抵抗があるようです。
- ・定年後、活躍できる場が望まれます。

高齢者の出かける場

- ・老人クラブの活性化について、検討が必要です。
- ・知識や得意分野を活かせる場をつくり、技能・技術を世代間で教えあうことが有用ではないでしょうか。
- ・最初は大きいところではなく、小さな集まりから得意なことが出てくれば良いと思います。

地域拠点の整備

- ・お年寄りには歩くことが大変です。小さい地区の拠点が必要です。
- ・隣近所の交流といっても、場所がないことが支障になっています。気軽に集まれる場所があることが、住民活動の原点です。会場使用料がかかるのは大変です。

地域の交流

- ・地域の人と一緒にボランティアをやっているので、近所づきあいもうまくいっています。
- ・近所づきあいがうまくいっていれば、地域の行事などにも参加しやすくなります。
- ・地域で催される行事への呼びかけは口コミが一番有用です。
- ・外国籍の方にも、付き合いの中で口頭で説明するとわかりやすい。
- ・近所づきあいが今の時代は難しいが、年をとると一人では生きられません。

▶▶ 3 地区で考えた地区の取組み

